

「小川市長就任記者会見」の概要

■日時 令和2年11月11日(水) 午前10時00分

■会場 千曲市役所 301大会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、長野市民新聞、新建新聞、日本工業経済新聞、時事通信社、屋代有線放送、信州ケーブルテレビジョン、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送

■質疑応答

問 「文化伝承創造都市」に向けてすぐに着手することや、部長に指示したいことなど、具体的に決まっていることがあれば教えてほしい。

回答 個別の具体的なことは決めていない段階。まずは、今あるものを大切に、活かしていく戦略でまちづくりを考えている。日本遺産の認定もある。地域資源と言われるものを掘り起こし、経済の活性化や観光の活性化等に繋げていくことを早急に取り組みたい。岡田市政で継続してきた良いところはしっかり伸ばし、立ち止まって考えなければいけない部分があれば考えていく。新たな創造については、デジタル社会に向けた人材の育成等をどのように進めるか考えていきたい。

問 地域の宝を掘り起こすとか、磨くための目標や具体的な施策があれば教えてほしい。

回答 まだ新型コロナウイルス感染症が終息していないので、今まで進めてきたインバウンドやロケツーリズムを、これまでと同じ規模で継続することが適切か疑問に思っている。国内、県内の旅行者をどのようにリピーターにしていくかということと、観光客の人数ではなく、消費額を上げていただきたいと考えている。今までの政策と照らし合わせながら、どうやって地域にお金が回るようにするのかを考えていきたい。

問 消費額がどうやったら上がるかのアイデアの一端を教えてほしい。

回答 今まで、ターゲットをしっかりと定めてこなかったことが一つの原因ではないかと思っている。戸倉・上山田温泉を例にすると、利用者の年齢層や性別等を分析し、リピーターになっていただける方に狙いを定めたPRをする必要がある。観光局としっかり連携し、そのような調査・分析もお願いしたいと思っている。

問 職員からのアイデアを採用する考えや、行政改革に関連してやりたいことはあるか。

回答 提案制度は職員のやる気を引き出せると思っている。他の自治体の例を研究しながら、千曲市で取り入れていけるものがあれば取り入れていきたい。

問 戸倉・上山田地区への市民窓口の設置をどのように進めていくか。

回答 公約に掲げているので、できるだけ早期に進めたい。ただし、行政改革の一環として庁舎の統廃合を決めた経緯があるので、議会とも相談しながら具体的な案を研究していきたい。

私の希望としては来年の4月からやりたいと思っている。

問 市民窓口の業務の範囲はどのように考えているか。

回答 行政改革で庁舎の統廃合した趣旨を踏まえつつ、住民ニーズをお聞きしながら調整していきたい。

問 市民窓口を設置する場所はどのように考えているか。

回答 場所も含めて、いくつか案を考えている。近いうちにお示しできたらと思っている。

問 まず直近で重点的に対策を行っていく必要があるものは何か。

回答 戸倉・上山田地区への市民窓口設置と、早く復興計画を策定してほしいという住民ニーズがある。復興計画の住民説明会は延期になっている。この点は早く進めたいと思っている。

問 復興計画の住民説明会はいつまでに行う考えか。

回答 本日の就任後、来月はすぐに12月議会が開会になる。関係部局とスケジュール調整をしながらできるだけ早い時期にと考えている。

問 屋代地区の大型商業施設の整備計画について、今後の進め方をお聞きしたい。

回答 今、何がどこまでどのように進められているか、ほとんどの市民が承知していない。できるだけ早い時期に、計画の進捗状況等をオープンにしたい。

問 屋代地区の大型商業施設については、コロナ禍で企業の状況も変わってきており、スピード感が求められている。今年度中にどこまでやりたいという目標をお聞きしたい。

回答 今年度中に現在の状況を公開したい。また、進出を計画している企業の方とできるだけ早い時期にお会いして、改めて意向などを確認したい。

問 大型商業施設に関連して、今年度、市道一重山線の測量が始まっている。今年度の事業の概略は担当部長から説明があると思うが、説明を聞いたうえで方針の転換はありえるのか。

回答 まずは市民にお知らせすることを公約に掲げた。お知らせをした後に、市民の皆さんからの意見をお聞きする。賛否はあると思うが、意見を参考にして最終的には私が判断する。

問 スピード感と市民や有識者の声を聞くということをどのように両立するのか。

回答 そこがアクセルとブレーキのような形になってしまうので、どのように行っていくのかは常に考えている。

問 大型商業施設の計画については、県や国との協議が必要になる。認可を行う県への姿勢の見せ方も大事になってくると思う。交渉能力も求められると思うがどのように考えているか。

回答 担当部長と話をする中で、スケジュールも含めて今後検討していく。

問 市民目線ということを強調されている。市民目線を大事にするという観点で、どのように対応するのか教えてほしい。

回答 仮称だが「市民の声を聞く会」をテーマごとに設けていきたい。組織としても、どういう形で市政の情報発信をしていくかを見直す必要がある。広報広聴という点を、もう一度違う角度から捉えて、今の時代に合った組織に変えることができるかを含めて検討している。

問 「市民の声を聞く会」はいつから行うのか。

回答 新年度から取り組みたい。

問 「市民の声を聞く会」のイメージをお聞きしたい。

回答 子育て等のテーマごとに公募し、関心のある方に手を挙げていただき、意見をお聞きするというイメージ。他の自治体で類似のものがあれば参考にしたい。

問 テーマはいくつ考えているか。

回答 それほど細かくは設定できないと思っている。分野ごとにと考えている。

問 「市民の声を聞く会」の位置づけをお聞きしたい。

回答 今まで、市民の声を聞く機会が不十分であったというイメージがある。このような機会を作って、そこに担当課の職員が同席し、意見交換ができれば、そこで何かが生まれるのではないかと思っている。ざっくばらんに話をするということをイメージしている。具体的な内容は、担当職員と調整しながら詰めていきたい。

問 女性が生き生きする組織として、例えば女性副市長の登用の考えはあるか。

回答 女性の活躍ということで、人事については、いろいろな方からいろいろな意見をいただいているが、副市長人事についてはお答えできない。

問 場外車券場について、どのように考えているか。

回答 私の個人の考えでどうにかなる段階ではないと伺っている。

問 前市政が進めてきたことで、やめるというものはあるか。

回答 今までよりも縮小したいと思っているのが、観光面ではインバウンド。コロナ禍で、同じ規模でやるのは適切ではないと思っている。交流人口の拡大に関する施策については、トーンを落とす。ただし、完全にやめるわけではない。やめてしまうと途切れてしまう。

問 内需の拡大は実際には難しいと思う。リピーターの奪い合いになる。

回答 戸倉上山田温泉に関しては、まずは利用者の分析をすることからだと思う。事業者の皆様には「凡事徹底」と言われる当たり前のことを、おもてなしを含めて徹底していただき、ファ

ンを増やしてほしい。業界全体の意思疎通や連携をしっかりと取っていくことが重要だと思っている。

問 当選後に、いろいろな方からいろいろな要望があったと思う。その中で取り組みたいと思うことはあるか。

回答 職員の接遇研修を行いたい。職員の応対の不満が多く聞かれる。

問 最近、新型コロナウイルスの感染者が増えてきている。例えば市民のPCR検査無料実施や、学校等において換気をする際の室温低下対策等についてお聞きしたい。

回答 感染予防に関しては「凡事徹底」で手洗いやうがいをする、密を避ける等、基本的な感染症対策で、新しい生活様式は市民の皆さんに定着しつつあると思う。油断をしないで再度徹底していただくよう啓発していきたい。学校等の換気については、窓の開け方など創意工夫で乗り切ることができればと思っている。PCR検査の実施については、医療の専門の方や市担当部局と相談し、他自治体の状況を合わせて研究したい。

問 こんな市長になりたいという希望があればお聞きしたい。

回答 気軽に皆さんから声をかけていただき、親しみを感じてもらえるような市長になりたい。また、市長が代わってここが変わったと言われるようにしたい。

問 選挙中「千曲市を変える」をテーマにされていたと思う。ここに一番メスを入れたいという具体的なものはあるか。

回答 これまでの市政の事業そのものを全部ひっくり返して、全てやめてしまうということではない。市民からも好評な事業は継続し、伸ばしていく。ただし、無駄が多いというご指摘もあるので、無駄は省いていく。メスを入れて、ぱっさり切り捨てるという改革ではなく、親しみやすい市にしていきたい。市民の感覚と市の感覚がずれていることが多々あり、市民から不満や不安として出てきている。市民の皆さんに「千曲市は温かい」「親身に寄り添ってくれる」と感じてもらえるような市にするための改革をしていきたい。

終了 午前10時40分